

令和5年度  
今治市中学生議会 会議録



令和5年8月4日



8月4日

出席議員	1
出席した者の職・氏名	2
議事日程	3

開会（午前9時40分）

木村文広議長の挨拶	4
徳永繁樹市長の招集挨拶	4

開議

日程1 議席の指定	5
日程2 会議録署名議員の指名	5
日程3 会期の決定	5
日程4 一般質問	
議長 藤井夏帆議員 質問 越智奏葉議員、矢野沙季議員	5
徳永繁樹市長の答弁	6
議長 渡邊煌心議員 質問 藤原太聖議員	8
徳永繁樹市長の答弁	8
議長 頼本桂吾議員 質問 池内 碧議員、近藤葵彩議員	10
徳永繁樹市長の答弁	11
議長 嶋原大峰議員 質問 打越由都議員、山内愛子議員	12
徳永繁樹市長の答弁	13
議長 元藤 直議員 質問 村上湘也議員、渡邊魁成議員	15
徳永繁樹市長の答弁	16
議長 越智大翔議員 質問 村上虎応議員、武田とわ議員	17
徳永繁樹市長の答弁	18
議長 渡部惟織議員 質問 本多美璃議員、白石優葵議員	19
徳永繁樹市長の答弁	20
議長 早野芽唯議員 質問 志賀春輝議員、山地瑚子議員	22
小澤和樹教育長の答弁	23
徳永繁樹市長の講評	25

閉会（午前11時30分）

# 今治市中学生議会 会議録

## 出席議員

1番	玉川中学校	おち 越智	かなは 奏葉	2番	玉川中学校	やの 矢野	さき 沙季
3番	菊間中学校	いけうち 池内	あおい 碧	4番	菊間学校	こんどう 近藤	あおい 葵彩
5番	玉川中学校	おち 越智	やまと 大翔	6番	菊間中学校	はやの 早野	めい 芽唯
7番	大島中学校	わたなべ 渡邊	こうしん 焯心	8番	今治明德中学校	しまはら 嶋原	たいほう 大峰
9番	近見中学校	わたなべ 渡部	いおり 惟織	10番	大島中学校	むらかみ 村上	しょうや 湘也
11番	大島中学校	わたなべ 渡邊	かいせい 魁成	12番	今治明德中学校	ほんだ 本多	みのり 美璃
13番	今治明德中学校	しらいし 白石	ゆき 優葵	14番		欠席議員	
15番	近見中学校	ふじわら 藤原	たいせい 太聖	16番	立花中学校	うちこし 打越	ゆと 由都
17番	立花中学校	やまうち 山内	あいこ 愛子	18番	立花中学校	ふじい 藤井	かほ 夏帆
19番	桜井中学校	よりもと 頼本	けいご 桂吾	20番	西中学校	もとふじ 元藤	なお 直
21番	桜井中学校	むらかみ 村上	とらお 虎応	22番	桜井中学校	たけだ 武田	とわ とわ
23番	西中学校	しが 志賀	はるき 春輝	24番	西中学校	やまじ 山地	ここ 瑚子

## 出席した者の職・氏名

市長	徳永 繁樹	副市長	土居 忠博
監査委員	木原 盛展	教育長	小澤 和樹
総務部長	木原 元喜	総合政策部長	森 聖二
地域振興部長	八木 明人	健康福祉部長 (兼) 福祉事務所長	長谷部 孝一
こども未来部長	八木 輪吾	市民環境部長	結田 信吾
産業部長	若宮 浩	建設部長	佐伯 洋一
上下水道部長	永田 秀樹	消防長	白石 勝志
副教育長	秋山 直人	総務政策局長	片上 光和
財政課長	長野 幸治		

## 今治市議会

議長	木村 文広	副議長	山岡 健一
----	-------	-----	-------

## 市議会事務局

局長	鳥生 敬二	議会総務課長	正岡 直記
議会総務課長補佐	平田 親吾	議会総務課長補佐	越智 涼子

議 事 日 程

(令和5年8月4日)

日程番号	議 事 内 容
1	議席の指定
2	会議録署名議員の指名
3	会期の決定
4	一般質問

## ○木村文広議長

おはようございます。今治市議会議長の木村文広です。今治市中学生議会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。今日は、今治市内の中学校を代表して8校から23名の中学生にお集まりをいただき、今治市中学生議会を開かせていただきました。

ようこそいらっしゃいました。心から歓迎を申し上げます。皆さんのような、若い世代が政治に関心をいただき、そして、今治市議会を身近

に感じてもらいたいという思いから、中学生議会を開催して、今年で5回目となりました。皆さんは、今日の質問のために、今治市のことをたくさん調べ、将来の今治市がどうなってほしいのか、たくさん考えられたと思います。皆さんの御質問には、徳永市長と、小澤教育長がお答えをさせていただきます。私も、今日は特別に、理事者席に座らせていただいて、皆さんの質問を聞かせていただきます。応援しておりますので、がんばってください。

最後になりましたが、各学校の先生方、そして保護者の皆様、本日は、御支援・御協力を賜りまして、心から感謝を申し上げます。

それではこれから、私が、中学生議会の議長を指名して、中学生議会を進めたいと思います。議長は、立花中学校の藤井夏帆議員をお願いいたします。



## ○藤井夏帆中学生議会議長

私は、初めに議長をつとめます、立花中学校の藤井夏帆です。よろしくお願ひします。本日の出席議員は23名です。ただ今から『今治市中学生議会』を開会いたします。市長から中学生議会招集のあいさつがあります。



## ○徳永繁樹市長

中学生議会の議員の皆さん、おはようござい

ます。今治市長の徳永繁樹です。中学生議会の開会にあたりまして、ご挨拶を申し上げます。炎暑の中、皆さんは学業や社会学習、部活動でとても忙しい中、本日の議会にお集まりをいただきまして、心から歓迎申し上げます。また、保護者の皆様、先生方をはじめ教育委員会の皆様におかれましては、本議会の開催にご協力をいただき誠にありがとうございます。

現在、日本では権力を分散させ、国民の人権を守るという考え方のもとで、「三権分立」という政治システムが採られていることは、皆さん学校で学んでおられると思います。「三権」とは、国会が持つ立法権、内閣が持つ行政権、裁判所が持つ司法権、この3つの権力のことを言います。一方で、愛媛県や今治市など地方自治体においては「二元代表制」という制度が採られています。これは、今治市長や今治市議会議員を、ともに住民が直接選挙で選ぶという制度です。ともに市民の代表である今治市長と今治市議

会議員とが、お互いに対等の立場に立ち、議論を重ねながら、今治市の発展のために取り組むということです。

今日は、地方自治の根幹ともいえる市議会の場を皆さんに経験していただくため、このような機会を設けさせていただきました。皆さんが市議会議員として、中学生ならではの若い感性で感じていること、今その目線でしか気付けないことなど、それぞれの視点から、皆さんなりの今治市の課題や、魅力あるまちづくりに向けた提案などについて、自信をもって発言をしていただければと願っております。そしてぜひともそれらの提案を、これからのまちづくりにつなげていくために、私共もしっかりとお答えをさせていただきます。

皆さんが生まれる少し前のお話をさせていただきます。平成17年の1月に、全国的にも珍しい、12もの市町村が一つになって今の今治市が誕生し、一つの大家族になりました。令和7年1月にはその合併から20年を迎えることとなります。これまでの20年を振り返るとともに、これから先20年の今治市の「あるべき姿」を、主役となる皆さんと共に描き、未来への一步を力強く踏み出すためにも、本日の中学生議会が、中学生議員の皆さん、そして市政をお預かりをしている私共にとって、実り多いものとなりますことを心から期待申し上げます。開会にあたっての御挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。



#### ○藤井夏帆中学生議会議長

徳永市長、ありがとうございます。これより本日の会議を開きます。本日の議事日程は、お手元に配付の日程表のとおりです。また、報道機関などから申し出があり、撮影を許可しておりますので、ご了承ください。

日程1、議席の指定を行います。議長において、皆さんが着席しているとおり、議席を指定します。

日程2、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員は、12番本多美璃議員、21番村上虎応議員、以上、二名の方を指名します。

日程3、会期の決定を議題とします。おはかりします。今治市中学生議会の会期は、本日1日としたいと思いますが、ご異議ありませんか。

( 「異議なし」と言う )

ご異議なしと認めます。会期は、本日1日と決定しました。

日程4、「一般質問」を行います。質問の順番は、各議席に配付しております質問順のとおりです。通告者の発言を順次許可します。

1番玉川中学校越智奏葉議員。2番矢野沙季議員。

#### ○越智奏葉議員

玉川中学校3年の越智奏葉です。

### ○矢野沙季議員

同じく3年矢野沙季です。

玉川中学校は、一学年一クラスの全校生徒96名の学校です。私たちの学校では、3つの縦割り班に分かれ、運動会や合唱コンクールなどで、グループマッチを行っています。この取組により、学年の垣根を越え、他学年との交流を増やすことができます。お互いが協力し合い、楽しみを分かち合うことで、より良い玉川中学校をつくることができていると思います。



私たちは野生動物への対策について、2点質問します。1点目は野生動物による農作物被害を防ぐためにかかる費用についてです。玉川には猿やイノシシなどの野生動物が多くいます。それらが畑を荒らし、農作物の被害を受けることがあります。そのため、農家の方たちは柵やネットを設置して対策を行っていますが、その購入費用が大きな負担になっています。そうした農家への個別の支援やその周知方法について教えていただきたいと思います。

### ○越智奏葉議員

2点目は、捕獲された野生動物の有効活用についてです。大三島には、イノシシや鹿の肉が食べられるラーメン店やレストランがあります。また、民間団体がイノシシの捕獲や解体を行い、皮や骨を活用した商品を開発しています。これらの活動は、イノシシの数を減らし、農作物被害を少なくするだけでなく、いただいた命を無駄なく有効に活用するものです。また、地域の活性化にもつながっていると思います。そこで、玉川のような山際の地域を中心に、野生動物を有効活用するような取組があれば教えていただきたいと思います。

以上の2点の質問について、ご回答をよろしくお願いします。

### ○藤井夏帆中学生議会議長

答弁を求めます。

### ○徳永繁樹市長

越智奏葉議員、矢野沙季議員からご質問をいただきました、まず、「野生動物による農作物被害を防ぐための支援と周知方法について」お答えをさせていただきます。

野生動物による農作物被害ですが、令和4年度、愛媛県全体の被害面積は328ha、被害金額は約3億6千万円となっています。今治市では、被害面積42.9ha、被害金額が約5千万円となり、皆さんが通われている玉川中学校の敷地面積が約1.47haですので、年間でおおよそ玉川中学校の30倍の面積の農地が被害を受けている計算になります。このような野生動物による農作物被害を防ぐため、農地を野生動物から守っていくという「守り」の対策、増えすぎた野生動物を捕獲する「攻め」の対策、野生動物を近寄りにくくする「環境づくり」の3本の柱が重要になります。

まず、「守り」の対策ですが、その一つとして、ご質問のとおり、野生動物の侵入を防ぐために設置す

る防護柵や電気柵の材料の購入費用の半分の支援させていただいております。それぞれ上限はありますが、昨年度は防護柵 82 件、電気柵 40 件、それぞれ御活用いただいているところです。周知方法ですが、広報いまばりや市のホームページをはじめ、市役所窓口での案内など、様々な方法により実施しています。私たちは様々な施策をくみ上げておりますが、市民の皆さまにあまねく、等しく、お伝えが出来るのかということについていつも大切に感じており、SNS であつたり、様々な情報手段を使いながら、市民の皆さんや、多くの皆さんにお伝えするよう努力をしているところでございます。

また、「攻め」の対策ですが、野生動物を捕獲する狩猟者を育成・確保するため、狩猟登録費用の一部を支援をさせていただくとともに、ドローンによるイノシシのすみかや移動ルートデータの収集、箱わなの遠隔操作など、狩猟者の省力化につながるデジタルの活用にも取り組んでいます。

最後に「環境づくり」の対策について、藪の仮払いや間伐などにより、集落に野生動物を簡単に近づけないようにする対策が必要となりますが、これらは集落ぐるみで行うのが最も効果的でございますので、地域のご協力をお願いしたいと考えています。

続いて、「捕獲された野生動物の有効活用」についてお答えをさせていただきます。今治市内では平成 22 年に大三島地区において、地元有志の皆さんや猟友会で組織する「しまなみイノシシ活用隊」が結成され、旧大三島給食センターの施設を活用して、捕獲されたイノシシの解体処理を行っています。鮮度の良さを最も大切にしており、販売しているイノシシの食肉や加工品は、国内でトップクラスの評価を受けています。

捕獲された野生鳥獣の肉を食べる、いわゆるジビエは、野生動物の尊い命を無駄にせず、地域資源として活用できる有効な取組でございますので、玉川地区など陸地部におきましても、地域住民や猟友会などのご意見を頂戴をしながら、どうした形で進めていくのが適切であるのか、ぜひ検討をしてまいりたいと思っています。

なお、昨年度のイノシシ肉を使ったラザニアに続き、今年度も学校給食のメニューに地元産ジビエを使う計画と聞いており、玉川中学校の給食にも提供される予定ですので、ぜひ楽しみにしててください。越智奏葉議員、矢野沙季議員におかれましては、「自然がおいしい町」玉川がより良い地域となるよう、これからも、地域の課題について、中学生が出来ることを話し合っただき、全校生徒が協力し、解決に向かって取り組んでいただくことを期待しています。学校生活が充実したものになるようこれからも頑張ってください。答弁は以上でございます。

#### ○藤井夏帆中学生議会議長

玉川中学校越智奏葉議員。矢野沙季議員。

#### ○越智奏葉議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

#### ○藤井夏帆中学生議会議長

以上で、玉川中学校越智奏葉議員と、矢野沙季議員の一般質問を終わります。次の議長に、大島中学校の渡邊煌心議員を指名します。

### ○渡邊煌心中学生議会議長

議長を務めます大島中学校の渡邊煌心です。よろしく申し上げます。質問を続けます。15番近見中学校藤原太聖議員。



### ○藤原太聖議員

近見中学校3年藤原太聖です。近見中学校では、1学期に空き缶を再利用して学級旗を制作しました。毎年、各クラス1,500個ずつの空き缶を回収し色を塗り、校舎に吊り下げ、空き缶アートを作っています。ぜひ見に来てください。

私たちは、「住みたい田舎ベストランキング」について、2点質問します。

まず1点目です。今治市は、2023年版「住みたい田舎ベストランキング」で全部門1位を獲得しました。私はこのニュースを聞いて、「自分の生まれ育った地域の魅力をもっと知りたい。そして、将来地元を愛し、地元貢献する人になりたい。」と思いました。そこで、今治市が全部門1位を獲得することができた要因を具体的に教えていただきたいと思います。

2点目の質問は、今後の移住促進・支援事業についてです。近年今治市への移住者数と移住相談件数が増加しています。このランキングの影響で今後も増加することが予想されます。そこで、今後の移住促進や移住者への支援の取組について教えてください。

以上で私たちの質問を終わります。よろしく申し上げます。



### ○渡邊煌心中学生議会議長

答弁を求めます。

### ○徳永繁樹市長

藤原太聖議員ご質問の「住みたい田舎ベストランキングについて」お答えさせていただきます。

まず、なぜ今治市が全部門1位を獲得することができたのか、その要因は何かという質問ですが、今治市は、宝島社「田舎暮らしの本」の実施する2023年度版第11回「住みたい田舎」ベストランキング、人口10万人以上20万人未満の自治体のカテゴリーにおいて、若者、単身者部門、子育て世代部門、シニア世代部門、そして総合部門のすべてにおいて1位に輝きました。

「住みたい田舎ベストランキング」の評価指標は、大きく分けて2つあります。

1つ目は、移住者数や移住相談の件数など、評価時点におけるそのまちの移住に関する数字の大小を点数化する指標です。今治市は、昨年度1年間に2,100名を超える方が移住をされ、その前の年度と比較して、1.4倍の伸びを記録しました。また、将来的な移住につながると期待される移住相談の件数も900件を超え、こちらも前年度274件の3.3倍になるなど、今治への移住先としての関心の高さを実感しています。

2つ目は、日常生活や交通、医療の状況、自然の豊かさや伝統的な景観・文化の保全など様々な分野に

おける自治体の魅力を数値化する指標です。

今治市は、地方の中核都市として、学校や保育園、幼稚園などが適切に配置され、また、病院や高齢者施設なども整備されており、社会インフラが整っています。加えて、主要産業である造船業・海運業をはじめとする海事産業やタオルを中心とする繊維縫製業のほか、食品加工業や石油精製業など、幅広い産業が充実し、市の生産力人口を支えています。働く場所が多いことは、移住を検討する上で、たいへん大きな判断材料となっています。さらに、温暖な気候のもと、海や川、山の多様な自然環境も多くの人を魅了しています。このように、市の魅力が移住者数や移住相談件数など数字として現れる指標と、移住支援策、医療、子育て、自然環境、就労支援など住みやすさを測る指標が総合的に評価され、4冠の荣誉に輝いたものと分析しております。

私は市長に就任をいたしましたして、もう2年4カ月が経とうとしています。私は「市民が真ん中」というものを、市政の根幹に掲げさせていただいております。この愛する今治がどんな地域であるのか、私は市民の皆さんに外の評価をお届けすることによって、今私たちが住んでいる今治市という地域が、とても素晴らしい地域であるということをお知らせをしたかった。たまたま一位になったのではございません。一位を獲得するために詳細な分析をし、そして結果を追求し、今治市は一位になった。皆さんからしたらあまり何も変化のないまちだと思われるのかもしれませんが。私自身も若いときはそういう気持ちもございました。でも、客観的指数に基づいて、外の皆さんがこれだけ素晴らしい地域だと言ってくさる、そんな地域に住んでいるという市民の皆さんに、シビックプライドの醸成、今治を愛するという心の寛容のためにも、こうしたものをお届けしたかったということ、若い皆さんにもお伝えをさせていただきたいと思っています。

次に、「今後の移住促進・支援事業について」でございます。今治市では、移住相談から始まり移住を完了するまでのそれぞれの段階に応じて、移住コーディネーターを中心にワンストップのサポート体制を整え、移住希望者を支援させていただいております。私共の移住施策は、今治市外に在住している20代から30代の若者世代、20代から40代の子育て世帯をメインターゲットとする一方で、18歳未満の市民の皆さんにも、進学や就職などでひとたび本市を離れたとしても、折に触れ、ふるさとの魅力を思い起こしていただき、今治市へUターンしていただくことも大切だと考えています。そこで、今年から「ふるさとキャリア教育」という取組をはじめしています。これは、「次世代を担い未来を創る今治の子ども達が、将来に夢と希望を抱き、今治に戻って働きたい、ずっと暮らしたいと思うキャリア教育の推進と郷土愛を醸成する」ことを目的の1つとし、小学校3年生から中学校2年生までの6か年に、総合的な学習の時間を用いて、地域の企業を訪問したり、今治へ移住してきた人から見た今治の魅力を講演していただき、若い皆さんが改めて気づきと学びをいただけるような機会を設けています。

皆さんの人生は、様々な可能性に満ちていると感じています。私もそうでした。今から20年以上前に、この愛する今治に戻ってきた。長い人生の中で訪れる、就職や転職、結婚や出産、子どもの入園入学など、人生の転換点と言われる場面で、「今治を頼ってもらいたい」「今治で生活していただきたい」「今治に帰る」という選択肢があることを皆さんの心に留めてもらいたい、そしてぜひとも「今治」を選んでいただけるように、そんな思いを私は持っています。今後は、移住完了された方が、本市に定住していただく段階で、地域社会の一員として、より一層活躍できる場を増やしていくと共に、「市民が真ん中」の理念のもと、皆さんに選んでもらえる「今治」、ずっと住み続けたいと感じていただけるような「今治」づくりを進めてまいりたいと考えておりますので、ぜひ御協力を賜りますようお願いを申し上げます。以上で

ございます。

○渡邊煌心中学生議会議長

藤原太聖議員。

○藤原太聖議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○渡邊煌心中学生議会議長

以上で、藤原太聖議員の一般質問を終わります。次の議長に、桜井中学校の頼本桂吾議員を指名します。

○頼本桂吾中学生議会議長

議長を務めます桜井中学校の頼本桂吾です。よろしく申し上げます。質問を続けます。3番菊間中学校池内碧議員。4番近藤葵彩議員。

○池内碧議員

菊間中学校3年池内碧です。

○近藤葵彩議員

同じく3年近藤葵彩です。



○池内碧議員

菊間中学校は、挨拶・集団行動・部活動を3本柱に、全校生徒84名が協力して学校生活を送っています。私たちは、高齢者の余暇活動の支援と、福祉施設の充実について2点質問します。

1点目は、3年生の総合的な学習の時間に、福祉施設を訪問した時に感じたことです。高齢者の方に、「これからやりたいことは、何ですか？」と質問をすると、「近くでもいいから旅行がしたい！」という意見がありました。高齢者の方が安全に旅行するためには、サポートをする人や、交通費の支援などがあればよいのではないかと感じました。今治市は、今後、高齢者の旅行などの余暇活動をどのように支援されていくのか、教えてください。

○近藤葵彩議員

2点目は、私は福祉施設を訪問した際、人手が少なく、常に施設利用者さん全員に目が行き届かないのではないかと感じました。また、設備面で限られた活動しかできないのではないかと感じました。もっと人手や設備を充実させて、利用者の方々全員がより多くの活動をし、楽しんでほしいと思います。現在の今治市の施設の設備や職員の人数配置はどのようになっているのか、そして、今後どのように充実させていく予定かを教えてください。

私たち中学生も、地域の一員として、高齢者を支える活動に協力していきたいと思います。

以上で質問を終わります。

○頼本桂吾中学生議会議長

答弁を求めます。

○徳永繁樹市長

はじめに、今治市社会福祉協議会の皆さんから、皆さんが総合学習の一環として、福祉体験学習や認知症サポーター養成講座の受講など、



地域の高齢者を支える活動を非常に熱心にされていることに加え、地域にお住いの高齢者の方々が皆さんとの交流を非常に楽しみにしていることをお聴きし、私もとてもうれしい気持ちでいっぱいです。この皆さんの取り組みをこれからもぜひ続けていただき、私たちもできる限り皆さんの活動のお手伝いができたらと思っています。それでは、池内碧議員、近藤葵彩議員のご質問にお答えさせていただきます。

まず、「高齢者の余暇活動の支援と、福祉施設の充実について」お答えをさせていただきます。今治市では、誰もが良かったと思える人生を送っていただけるよう、健康づくりや社会参加の推進、高齢者を見守る地域の体制づくり、介護が必要な方への支援など、高齢者への福祉の取組を積極的に展開しているところでございます。

高齢者の余暇活動の充実を支援することは、今治市として重要な取組であると認識しています。ご提案いただきました高齢者に対する直接的な旅行支援は行っていませんが、本市には、様々な観光資源があります。皆さんが生まれる前、現在の今治市は12の市町村に分かれていました。合併により、その12の市町村が一つの家族となって、ちょうど来年度が20周年にあたります。現在、合併20周年に向けて、地域資源の掘り起こしを行い、高齢者の皆さんにも喜んでいただけるような様々なイベントを企画しております。たとえば、お二方の地元である菊間でありましたら、瓦の文化がございまして、そして、お供馬の文化もございまして、太陽石油という石油精製事業をしている会社もございまして、私であるならば太陽石油になかなか入ることができませんけれども、あの迷路のような工場の中を歩いてみたいなども思っています。職員の皆さんが食べている、様々なものを食べてみたいと思ってみて、今一度地域資源というものを若い皆さんも含めて、探していこう、磨いていこう、繋いでいこう、発信していこう、そんな取組が出来たらいいなと思ってみて、ぜひこの機会に家族みんなでこうしたイベントにご参加いただき、菊間のよさ、今治のよさをもっと知っていただき、そして発信をしていただきたいと思います。加えて、認知症予防にも効果があると言われております、eスポーツを推進しております、今年度、モデル地区として、eスポーツを体験できる施設を2か所整備をさせていただきます。スタートの際には、大学生などの、お孫さんにあたる世代の方にもサポートをしていただき、世代を超えた交流の場として、また、生きがいづくりの場としてご利用いただくことを考えています。

続いて、御歳を召された方々の施設の整備や、職員配置の状況と今後の予定に関しまして、高齢者福祉施設の設備について、国が基準を定めております。例えば、常に介護が必要で、家での生活が困難な方が入所する「特別養護老人ホーム」では、居室1室あたりの定員が1人であること、静かに時をお過ごしになれるお部屋、浴室、洗面設備、食堂・機能訓練室を備えることなどの要件があります。これらの設備に加えて、カラオケ設備など、より多くの活動ができる設備を充実させることについては、御利用者の皆

さんの声も聴きながら、可能な範囲で施設へ働きかけをしまいたいと考えております。また、施設の職員の人数配置につきましても、国が人員基準を定め、例えば、お二方の地元、菊間町にあります定員 53 人の「特別養護老人ホーム菊仙荘」では、介護と看護の職員の総数が 18 人以上であるほか、生活相談員、介護支援専門員、機能訓練指導員をそれぞれ配置することなどが基準となります。各施設はその基準を守って運営していただいておりますが、仮に基準以上の人数を配置しようとしたり、退職した職員の補充をしようとしても、仕事の忙しさや大変さ、給料が低いというイメージを持たれていることなどから、全国的に介護職員が集まりにくい状況になっています。介護職員が社会生活を支えるとても重要な役割を担っていただいている実情を踏まえ、今治市では、介護に関する資格を持ちつつも現在就職していない人の再就職の手助けとなるよう、介護技術研修会を開催しており、その研修会には、資格がなくても医療・介護に興味のある高校生や、その保護者にも参加を呼び掛け、より多くの方が介護人材として働けるよう努めてまいります。高校生になる皆さんもぜひ参加いただき、また、お友達にも参加を呼び掛けていただき、人の幸せに貢献する職種を目指していただきますようお願いを申し上げます。

「住んでいてよかった、安心して住める町・住んでみたい町・子どもたちに誇れる町・いまばり」を皆さんと共に創り上げていけることを楽しみにしております。以上で答弁は終わります。

#### ○頼本桂吾中学生議会議長

菊間中学校池内碧議員。近藤葵彩議員。

#### ○池内碧議員

ありがとうございました。以上で質問を終わります。

#### ○頼本桂吾中学生議会議長

以上で、池内碧議員と近藤葵彩議員の一般質問を終わります。次の議長に、今治明德中学校の嶋原大峰議員を指名します。

#### ○嶋原大峰中学生議会議長

次に議長を務めます今治明德中学校の嶋原大峰です。よろしく申し上げます。質問を続けます。16 番立花中学校打越由都議員。17 番山内愛子議員。

#### ○打越由都議員

立花中学校 3 年打越由都です。

#### ○山内愛子議員

同じく 3 年山内愛子です。

立花中学校では、SDG s の学習に力を入れて取り組んでいます。一昨年から、ジェンダー平等について学習を重ね、今年度より新制服が導入されました。また、アルミ缶やエコキャップ、1 円玉、ベルマークなどの回収活動も行っています。



これらの活動は、地域社会に貢献したいという思いから、生徒一人一人が主体となって取り組んでいます。一方、私たちの学校のすぐそばを流れる蒼社川やその脇の水路には、たくさんのごみがあります。その状況を見るたびに、地域のごみをもっと減らしていく手立てはないものかと考えてきました。



そこで、私達は「ごみ削減の取組」について2点質問をします。1点目です。今治市では、市民大清掃が行われたり、ボランティアでの清掃活動をしている人がいたりします。また、スーパーや薬局などの店舗でリサイクルのためのコーナーが設置されている等の、リサイクルや清掃活動でごみの削減、街並みの維持が図られています。それでもなお、道路や川、海岸にごみが落ちているのを皆さんもよく目にすると思います。川や海からのごみは、漂流物の可能性も考えられますが、道に落ちているごみは確実に私達市民から出たものです。そこで、今治市の取組として、不法投棄への対策や誰もが参加しやすいようなイベントなどを通じた啓発活動を検討されているのか教えてください。

#### ○打越由都議員

続いて2点目です。近年、食品ロスが世界でも大きな課題となっています。国では、食品ロス削減に対する法律が設けられたり、食品の製造工程で規格外品として捨てられる商品を引き取り、福祉施設や子ども食堂などへ無償で提供する「フードバンク」の取組が進められていたりします。そこで、今治市でも食品ロス削減のために今治市民の食品ロスへの考えを深めるような取組がされているのか教えてください。私達は様々なごみ削減への取組を推進していくことが、今治市のより良い未来を築くためのきっかけになると思っています。

以上の2点の質問について、ご回答をよろしくお願いいたします。

#### ○嶋原大峰中学生議会議長

答弁を求めます。

#### ○徳永繁樹市長

立花中学校の皆さんにおかれましては、日頃よりSDGsについて熱心に学習し、よく理解されていますね。令和3年度から生徒会が中心となり「学校から世界をよくしていこう」との考えのもと、今年度から性別に関係なく制服を選べる、ご紹介のあった「ジェンダーレス制服」の導入をはじめ、先週、夏祭りにおじゃまをさせていただいた時には、地域で着なくなった、使い古されたものかも知れませんが、子供服を集めて、ユニクロさんを通して世界の子供たちに届けるといった社会貢献活動にも熱心に取り組み、大変に頼もしく嬉しく思っています。皆さんの活動に、これからも大いに期待をするものでございます。

さて、打越由都議員、山内愛子議員ご質問の「ごみ削減の取組について」お答えさせていただきます。まず「不法投棄への対策とイベント等を通じた啓発活動について」でございます。道路や川、海岸へのごみの不法投棄に関する対策は、SDGsの掲げる目標の一つ「住み続けられるまちづくり」への取組につ

ながる、大変重要な問題だと認識しています。ごみの不法投棄という心ない行為は、生活環境を悪化させ、まちの美観を損ねる違法行為であるにもかかわらず、未だに後を絶たない状況でございますが、それぞれの地域、立花地区の皆さんも熱心に取り組んでいただいております、ボランティア団体の皆さんも、中学生の皆さんも、清掃活動に鋭意御尽力をいただき、立花地区から今治市をきれいにさせていただくという環境美化に大いに御貢献をしていただいております。

一方、今治市では、不法投棄への対策として、市内の巡回パトロールをはじめ、不法投棄多発地点への看板や監視カメラの設置、警察への情報提供などを行っています。また、ごみのポイ捨てなどを今治市の条例等でしっかりと規制することも視野に入れながら、有効な方策は何か、どうしたら不法投棄がなくなるのか、心無い行動がなくなるのか、今考えている最中でございます。不法投棄を無くすためには、ごみ捨てに対する一人ひとりの心掛け、意識改革が何よりも大切であると感じています。そのため、まずは不法投棄が違法行為であるということをご認識していただくためにも、未来を担う子どもたちへの環境教育はもとより、10月に開催予定の「いまばり環境フェスティバル」などのイベントへ多くの市民の皆さんにご参加いただき、子どもから大人まで幅広い年齢層に向け、「不法投棄」や「ごみの減量・資源化」について再認識を促すとともに、環境の大切さの周知啓発に取り組んでまいります。

次に「食品ロス削減に向けた取組について」でございます。農林水産省・環境省の「令和3年度推計」において、日本では、まだ食べられるのに廃棄される食品が523万トンあると報告がございます。これを国民一人当たりで換算いたしますと、お茶碗約1杯分(約114g)の食べ物が毎日捨てられていることとなります。本当に「もったいない」と思います。実は、この「もったいない」という言葉の意味と概念は、世界の他の言語にはないそうです。そのため、環境分野で初のノーベル平和賞を受賞した、ケニアのワンガリ・マータイさんが来日した際に、その言葉に感銘を受け、環境を守る世界共通語として広く世界に向けて提唱されています。私たち日本人にとって、本当に、大切にしていきたい「ことば」の一つだと思います。

食品ロス削減は、ごみの削減にもつながる非常に大事な課題です。今治市の取組の一つとして、食べ残しを減らす取組を実践する飲食店等に「今治市おいしい食べきり運動推進店」の参加呼びかけを行い、食べきりの推進に向けた意識啓発を図っています。また、私も含めてそうなんですけど、会食の際の最初の30分と最後の10分間は自分の席で料理を楽しんでもらい、食品ロスの削減につなげようと「3010運動」の推進も行っています。お二方におかれましては、お家に帰られてお父さんやお母さんにも、この「3010運動」にご協力をいただけますようお願いいたします。さらに、今年の「いまばり環境フェスティバル」では、フードドライブのコーナーを設け、市民の皆さんから集まった食品などを、フードバンク団体を通じて子ども食堂や福祉施設などにお届けすることができました。こうした取組を市民の皆さんに理解していただくためにも、積極的な周知・啓発をしていくことが、少しでも食品ロス削減につながっていくものと考えています。

今治市は、「住みたい田舎ベストランキング1位」という大変栄誉な評価をいただいております、加えて世界に誇るサイクリストの聖地の一つにもなっています。住む人、訪れる人みんなが「日本一すごしやすい快適なまち今治」を目指すためにも、そして地球環境を守るためにも、ごみの発生を減らす「リデュース」、くり返し使う「リユース」、資源として再生利用する「リサイクル」、それぞれの頭文字をとった3Rの推進を、しっかりと進めていきたいと考えておりますので、お二方を含め、立花中学校の皆さんにも、ぜひご協力を賜りますようお願いを申し上げて、答弁とさせていただきます。

○嶋原大峰中学生議会議長

打越由都議員、山内愛子議員。

○打越由都議員

これで質問を終わります。ありがとうございました。

○嶋原大峰中学生議会議長

以上で、打越由都議員と山内愛子議員の一般質問を終わります。次の議長に、西中学校の元藤直議員を指名します。



○元藤直中学生議会議長

次に議長を務めます西中学校の元藤直です。よろしくお願ひします。質問を続けます。10番大島中学校村上湘也議員。11番渡邊魁成議員。

○村上湘也議員

大島中学校3年村上湘也です。

○渡邊魁成議員

同じく3年渡邊魁成です。

大島中学校では、毎年遠足で島四国八十八か所を巡っています。大島の自然に触れながら、お接待をとおして島の人々の温かさを感じることができます。

私たちは情報設備の充実について、2点質問します。1点目は、地域による情報格差についてです。私が住んでいる地域はスマートフォンや携帯電話がたまに圏外になるほどネット環境が整っていません。そのため、オンライン学習などで情報端末を使う際に思うように操作することができないことがあります。また、私の両親は漁業に携わっており、海洋産業がさかんな大島をはじめとしたしまなみ海道の島々は海上で電波が届きにくく、電話がつながりにくいということも聞いたことがあります。このような状況に対して今治市としてはどのように考えていますか。

○村上湘也議員

2点目は、しまなみ海道の島々の魅力を発信するための観光スポットの充実について質問します。私たちは、総合的な学習の時間に大島の自然や産業をどのように発信するのか考える活動をしています。そこでSNSを使って発信する方法が挙がりました。しかし、観光スポットが整っている場所は島内でも限られており、大島の魅力を発信するためには、不十分である



と感じています。そこで観光スポットの充実を図るとともに、地域の人たちがSNSを使って島々の魅力をPRできるような設備の充実を検討していただくことはできないのでしょうか。しまなみ海道の島々に住んでいる人たちが、今よりもっと自分が住んでいる島を好きになり、観光に来た人たちが「また来たいな。」と思えるような場所にするために何か今治市として具体策がありましたらお願いします。

以上で私たちの質問を終わります。

#### ○元藤直中学生議会議長

答弁を求めます。

#### ○徳永繁樹市長

村上湘也議員・渡邊魁成議員ご質問の「情報設備の充実について」お答えさせていただきます。

コロナ禍を契機として、ここ数年間でオンライン学習などデジタル技術を活用したライフスタイルへの転換が急速に進んでいることは、中学生の皆さんもお感じになっていることと思います。

今治市では、「デジタル化の加速・スマートシティ今治の推進」を大きな政策の柱に掲げ、市民が真ん中のDXを目指し、本年3月には「今治市デジタル未来戦略」を定め、「誰一人取り残されないデジタル社会の実現」を目標としています。

携帯サービスを提供しているドコモ、au、ソフトバンクでは、大島島内は全域を提供エリアとしていますが、お二方からお話がありましたように、山影など電波の届かない場所があったり、動画アップロードなどの大容量通信をしようとするとう携帯では時間が掛かったり、不便さを感じるケースもあると伺っております。そうした状況を踏まえ、令和4年度から、国と今治市が支援を行い、光ケーブル回線が整備されていない地域に対して、NTTや今治ケーブルテレビが環境整備を進めているところです。

さらに、ネット環境の充実のため、昨年度は愛媛県の事業に協力し、市内の観光施設や公民館などの公共施設、127箇所フリーWi-Fi設備を整備させていただきました。うち、44箇所がしまなみエリアです。皆さんお住まいの各地域の、お近くの公共施設で、是非利用してみてください。地域の自然や文化・産業など、地域の魅力をSNSなど様々な手段で発信するという取組は、今治の認知度を高めるだけでなく、「今治に行ってみよう」と思わせ、交流人口の拡大にも繋がる、とても素晴らしい、これからやらないとならない取組だと思います。

皆さんだからこそ知っている、地域の魅力をどんどん発信していくことは、皆さん自身の、地域を大切に思う心を育み、また大島だけでなく、今治市全体でこうした取組を進めていくことが、将来にわたって今治の賑わいづくりに繋がると大いに期待しています。さらなる情報通信設備の充実に向けて、国・愛媛県・通信事業者へ粘り強く働きかけを行ってまいりたいと考えております。以上でございます。

#### ○元藤直中学生議会議長

大島中学校村上湘也議員。渡邊魁成議員。

#### ○渡邊魁成議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

### ○元藤直中学生議会議長

以上で、大島中学校村上湘也議員と、渡邊魁成議員の一般質問を終わります。次の議長に、玉川中学校の越智大翔議員を指名します。

### ○越智大翔中学生議会議長

次に議長を務めます玉川中学校の越智大翔です。よろしくお願いいたします。質問を続けます。21 番桜井中学校村上虎応議員。22 番武田とわ議員。



### ○村上虎応議員

桜井中学校3年村上虎応です。

### ○武田とわ議員

2年武田とわです。

### ○村上虎応議員

私たちの学校は、徳永市長の母校です。徳永市長や市の職員の方、地域の方のおかげで、桜井中学校は安心して安全に勉強や部活動に取り組むことができるとてもいい学校になっています。いつもありがとうございます。さらによりよい学校にするために、本校では、今年度「活気あふれる学校にするために」と「いじめのない学校を目指すために」を二本柱とした、桜井中学校S B G s<sup>1</sup>を作成し8つの努力目標を掲げています。今治一の学校を目指して、生徒全員で様々な活動に取り組んでいます。

### ○武田とわ議員

今回私たちは子育て支援について、2点質問します。

1点目は、今後の子育て支援の政策についてです。先日子育て支援について調べていると兵庫県明石市の「5つの無料化」の政策を知りました。中学校の給食費や公共施設の遊び場、第2子以降の保育料が全て無料になるという魅力的な政策でした。現在、今治市でも多くの子育て支援を行っていると思いますが、今後今治市の子どもたちやその保護者に喜んでもらえるような魅力的な政策の予定はありますか。



2点目は、その財源についてです。子育て支援には、より多くのお金が必要であると思います。財源を確保するためにどのような工夫を行っているかを教えてください。

以上の2点になります。よろしくお願いいたします。

<sup>1</sup> 桜井中学校S B G s…桜井中学校が今治一の学校になるための8つの努力目標

## ○越智大翔中学生議会議長

答弁を求めます。

## ○徳永繁樹市長

村上虎応議員、武田とわ議員ご質問の「今治市の子育て支援について」お答えさせていただきます。その前に子育て支援、これを地域として願いを込めたお祭りが桜井にあることは御存じですか。昨日行われました桜井の「宮島さん」、皆さんは行かれましたか。私も行きたかったんですけど仕事が随分と遅くなって報告だけいただきました。この「宮島さん」なんですけど、毎年、旧暦の6月17日に行われておりまして、今年は昨日の開催でございました。いわゆる満月の大潮に合わせてということでございまして、7歳までの男児の成長を願って藁で編んだ船を桜井の綱敷天満宮へ奉納していただいて、その夜に桜井の沖の海へお父さんが船を進めて流していくということで、子どもたちの健やかな成長を願うという取組でございまして。私は今年53歳で今から40年ほど前でありまして、200隻ほどの船があって、一大行事でもございました。こうした素晴らしい伝統行事、人口減少もあるのかと思っておりますけど、ぜひお二方にはお支えをいただきたい、そして繋いでいただきたいと願っております。

それでは今後の「今後の子育て支援の政策について」お答えをさせていただきます。

私が市長になって、「女性が輝く、子どもが輝くやさしいまち今治」の実現を目指し、「子どもが真ん中」の理念のもと、子育て支援の新たな政策として「今治版ネウボラ」に取り組んでいます。

「ネウボラ」とは、妊娠期から小学校入学前までの子どもがいるすべての家庭を、切れ目なく支援するフィンランドの子育て支援施策のことです。この取組を参考に、今治市では独自に、支援の対象を18歳までに拡大し、安心して子どもを産み育てることのできる、子育て世代に選ばれるまちを目指しています。

具体的には、お母さんが安心して出産できるような保健師や助産師との個別相談や、子育てに役立つ教室の開催、出産後には保健師や民生児童委員による全家庭への訪問など、子育て世代に寄り添った様々な事業を実施しています。また、18歳までの医療費の無償化や、育児用品やおむつの購入券のプレゼント、しまなみ海道で繋がる島しょ部地域にお住いの子育て世帯には、産婦人科への通院などの通行料を支援するなど、子育て世代の経済的な負担の軽減を図るに加え、一昨年度からは、今治のシェフ達による「日本一おいしい給食」プロジェクトも始まっています。

このような取組により、宝島社の「田舎暮らしの本」の住みたい田舎ベストランキングの「子育て世代部門」において2年連続で1位を獲得したところでございます。そうした中、今後は、「子育てするなら今治市」と言っただけのよう、今治版ネウボラ拠点施設の整備にもとりかかりたいと考えています。これまで、様々な機会でご意見をお聞きする中、子育て世代の皆さんからは、「子どもとゆっくり過ごせる場所がない」「雨の日でも安心して子どもが遊ぶことのできる場所が少ない」「改まった場所で子育ての相談をするのはハードルが高い」といった要望もいただきました。

今治版ネウボラ拠点施設は、大きな屋根を持った公園のように、天候に関わらず色々な人が集う、子どもが真ん中を象徴する場所になればいいと思っています。相談機能や子育て広場を備えた「子育て世代活動支援センター」、市民の健康を守る「保健センター」、子どもたちが勉強したり遊んだりできる「児童センター」、音楽やダンスの発表なども行える「地域交流センター」といった機能が一体となった、子どもも大人もわくわくと楽しめる複合施設として実現できればと考えています。

また、今治市は12の市町村が合併し、島しょ部から山間部まで有する広大な市となりました。そのため、今治のどこに住んでいても、安心して楽しく子育てができるよう、島しょ部の「親子ひろば」やどこからでも通える放課後児童クラブを新設するほか、規模の大きな公園に乳幼児が安心して遊べる専用スペースを新設するなど、地域ごとの特色を生かしたりリニューアルを進めることとしており、まち全体で子育て環境の更なる充実を図ってまいります。



次に、2番目の「財源について」です。市民の皆さんの子育てを応援するためには、その財源をしっかりと確保する必要があります。例えば、中学校卒業までの児童を対象として皆さんのお父さんやお母さんにお配りしている児童手当には年間で約20億円、18歳までの医療費無償化には約6億4千万円、9か所ある子育て支援拠点の運営費には約6千5百万円など、たくさんのお金が必要になっています。そのため、国や県からいただく交付金のもとより、今治市出身の皆さん、今治に御関心を持っていただいている皆さんのところにも、今治の想い、今治の取組をしっかりとお伝えさせていただいて、ふるさと納税などにより、地域の方々や団体、市内外の企業などから「今治の子育てっていいよね」「何か手伝いたいよね」といった思いを、ご寄付としてお寄せいただける仕組みも整えてまいりますし、営業活動もしていかないといけないと思っています。また昨年度には、「こども未来基金」を創設し、施設の改修や備品購入のほか、拠点施設の整備にも活用したいと考えています。

今後とも、今治の子どもたちの未来のため、持続可能な財政運営のもと、更なる子育て環境の充実に取り組んでまいりますので、ぜひ皆さまからも様々な意見を賜りますようお願いを申し上げて答弁とさせていただきます。

#### ○越智大翔中学生議会議長

桜井中学校村上虎応議員。武田とわ議員。

#### ○村上虎応議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

#### ○越智大翔中学生議会議長

以上で、桜井中学校村上虎応議員と、武田とわ議員の一般質問を終わります。次の議長に、近見中学校の渡部惟織議員を指名します。

#### ○渡部惟織中学生議会議長

次に議長を務めます近見中学校の渡部惟織です。よろしくお祈いします。質問を続けます。12番今治明徳中学校本多美璃議員。13番白石優葵議員。

### ○本多美璃議員

今治明德中学校3年本多美璃です。

### ○白石優葵議員

3年白石優葵です。

私たちの学校は、総合学習の時間に、1年生で環境エネルギー講座、2年生で異文化体験講座、3年生で福祉講座を行っています。この取り組みは、明德中学校独自のもので、いい体験になり、将来に役立つなと思いました。

私たちは商店街の活性化について2点質問をします。商店街に行く手段として多くの人が車を利用すると思います。しかし、商店街周辺の駐車場や1時間何円などの情報が少なく観光客だけでなく、地域住民にとっても利用しづらいのが現状です。そこで私たちは、商店街周辺の駐車場についてまとめたものがあれば、便利になり、商店街へ行きやすく活性化に繋がると考えています。

そこで1つ目の質問です。商店街周辺の駐車場などの情報提供についてなにか考えはありますか。

### ○本多美璃議員

また、今治市の商店街や港は、歴史ある街並みや港のきれいな景色、整った設備などがあるのにもかかわらず、人が減少しているのが現状です。そこで、私たちは、誰でもワクワクできる商店街や、学生が通学利用することが多いことを利用した学生向けの学習スペース、商店街のお店や周辺住民、港などと連携し、観光客だけでなく、住んでいる人も一体となって活性化し、誰でも楽しめるような商店街があったらいいなと思っています。学生向けのスペースについては、中高生の秘密基地 F のような施設があったことをインターネットで調べて知りました。私たちは今回このことを初めて知ったので、他にも知らなかった人が多いと思います。商店街についてインターネットや掲示板などを通して広く知ってもらうことができれば商店街活性化にもつながると思います。商店街を活性化させることができればたくさんの方が来ると思います。

そこで2つ目の質問です。商店街の活性化についてなにか考えや取り組みなどはありますか。

### ○渡部惟織中学生議会議長

答弁を求めます。

### ○徳永繁樹市長

本多美璃議員、白石優葵議員ご質問の「商店街の活性化について」お答えさせていただきます。まず「商店街周辺の駐車場などの情報提供について」でございますが、商店街周辺には立体駐車場である風



早駐車場や、旧日吉小学校プール跡地を活用した南宝来駐車場などの市営駐車場があります。市のホームページに今治駅から港までの市営駐車場の位置図を掲載し、利用時間、台数、料金、バリアフリー整備状況などの情報を掲載しているところですが、ご質問のとおり、利用される方にとっては公営も民間もあまり関係ありません。民間駐車場も含め必要な情報を得られることが何よりも大切で、それこそ市民が真ん中ではないのかなと思っています。今後は市民や観光客を問わず、誰もが分かりやすい情報提供に努めてまいります。

また、今年の4月より、駅から港までの広小路側道のコインパーキングが、機器の老朽化や利用者の減少などにより廃止となっています。駐車スペースがなくなった側道ですが、中心市街地の活性化のためには大変貴重な公共空地と考えており、今後は、あの場所を市民の皆さまと一緒にどう生かしていくのか、どう賑わいの拠点にしていけるのか、これは芝っち広場も一緒でありますけど、今年度から取組をさせていただきたいと考えております。

次に「商店街の活性化に向けた取組について」でございます。島嶼部の皆さんがフェリーに乗って今治に来る、そして商店街で買い物をするなど、かつての商店街はこういう構造でございました。今から25年ほど前でございますけども、しまなみ海道が全線開通をしたことによって大変利便性も高まったし、助かる命も救えるようになった。でも、その人の流れの対応に今治市としては十分な対応ができていなかった結果が、今の商店街の有りようになっているのかなというふうにも思います。また、まちの発展を郊外に求めていくということも、その時代、時代のトレンドでもあって、今治市におきましては、今、今治里山スタジアムができているところ、あるいは日本食研が進出をさせていただいているところ、こういう大規模な開発もさせていただいて、発展を郊外に求めたということもございますして、商店街は非常に厳しい状況になっております。こうした実状を受け今治市でも空き店舗対策など、商店街にお住いの皆さまが主体的に動けるような様々な政策をやってまいりましたが、なかなか皆さんが実感できるような効果には至っていないのかなと思っています。私自身が市長に就任させていただいて、この中心市街地にもう一度、かつての今治の賑わいを取り戻していくために何が必要なのかということ市議会議員の皆さん、職員の皆さん、市民の皆さんと向き合いをさせていただきました。

みなとを起点とした、自転車ロードレース「第1回今治クリテリウム」のまちなか開催、これも四国初開催でございました。みなと周辺、は一ぱりーをぐるぐるまわる、まさに瀬戸内の新しい風を実感できるような取組でもあって、大いに経済波及効果が出ております。加えて、「サイクリングしまなみ 2022」、これは供用中の高速道路を止め、そして、その上を走れるという世界どこを探してもあまりないプレミアムな空間の大会でございますけど、そのフィニッシュ地点を広小路に構えさせていただいて、回遊性を高めるという取組をさせていただきました。そして昨年秋、今治港開港100周年の記念イベントでは、航空自衛隊のアクロバットチーム「ブルーインパルス」がしまなみの青い空を舞って、かつての今治の賑わいを取り戻す1日となったかと思っております。

私は皆さんにも、人が集まるということは、どういう波及効果があるのかということをお見せしたかった。そして皆さんが一步前に踏み出していただけると、そんな取組を促すような施策をさせていただいてございます。

昨年11月から始まった「せとうちみなとマルシェ」は、毎回1万人を超える来場者で賑わい、早くも今治の名物とも言えるイベントとなっています。私は今を生きる今治市民のみならず、これから生まれてくる子ども達のためにも、こうした文化をどうしても残してあげたい、つくってあげたい、そういう想

いでございます。このマルシェが、今治の夏の時期には土曜の「夜マルシェ」として進化し、商店街の土曜夜市と一体的に開催することで相乗効果と呼び、これまでにない賑わいがまちなかに生み出されているのかなと思っています。

6月10日、11日には愛媛県に初上陸した、弘前ねぶたがお披露目され、2日間で約7万人の人出で賑わうなど、祭りの観点からも賑わいの創出に取り組む中、いよいよ明日からは「おんまく」が始まります。四国最大級の「おんまく花火」をはじめ、踊りや郷土芸能で商店街周辺も大変な賑わいとなるでしょう。今年の「おんまく」のテーマは「REBORN」でございます。明るい未来に向けて舵を切り、変化の波を皆さんとともに乗り越え、そしてかつての今治の輝きを取り戻す、そんな象徴となることを願っています。こうしたイベントをとおして、中心市街地へ人が集まり、そして賑わいが生まれる、こうした好循環をどんどん作っていきたくと思っています。

中心市街地を魅力ある場所にするためには、若い皆さんのアイデアや行動力が欠かせません。自分たちの手で地域をより良い場所に変えていくことで、未来に誇りを持つことができます。中学生としてできることは何か、自分ごととして考えると、もっと身近で意義のあることと感じられると思います。皆さんもぜひ、様々な賑わいづくりに積極的に参加し、素晴らしいまちを一緒につくっていただきますようお願い申し上げます、私からの答弁とさせていただきます。

#### ○渡部惟織中学生議会議長

今治明德中学校本多美璃議員。白石優葵議員。

#### ○白石優葵議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

#### ○渡部惟織中学生議会議長

以上で、今治明德中学校本多美璃議員と、白石優葵議員の一般質問を終わります。それでは次の議長に、菊間中学校の早野芽唯議員を指名します。

#### ○早野芽唯中学生議会議長

次に議長を務めます菊間中学校の早野芽唯です。よろしくお祈いします。質問を続けます。23番西中学校志賀春輝議員。24番山地瑚子議員。



#### ○志賀春輝議員

西中学校3年志賀春輝です。

#### ○山地瑚子議員

3年山地瑚子です。

西中学校では、全校生徒で地球に優しい取組を実現していこうと、昨年度「生徒会SDGs宣言」を作

成し、各委員会が中心となって活動しています。給食委員会が残食0を働き掛け、JRC委員会がアルミ缶・ベルマークの収集を行うなど、委員会活動が活発に行われています。今後も私たちにできることを継続していきたいです。また、今年度中学校では、スタディサプリの使用が始まりました。本校でも、夏休みにスタディサプリを活用し、学力の向上を目指して自分のペースで学習を進めています。さらに、西中学校は部活動が大変盛んで、どの部活動も先生が熱心にご指導してくださり、今年の県総体にも多くの団体・個人が出場し、健闘しました。

私たちは「教育・文化・スポーツの充実」という観点から2点質問します。1点目は、教育面についてです。世界では、チャットGPTについて話題になり、教育現場で使用する学校が増えてきました。ICTを活用した学習が展開され、今までの学習方法やICTが見直されていると思います。色々なことをICTでこなすようになったこの時代で、今治市が目標とするICTを利用した学習の理想像はどのようなものですか。また、理想への現状や課題があれば教えていただきたいです。

### ○志賀春輝議員

2点目は部活動の地域移行についてです。全国では、部活動が地域移行される中学校も増えてきましたが、様々な課題があり、なかなか進んでいないのも現状だと思われます。そこで、今治市が今後、どのように地域移行をしていこうと考え、計画しているのかを教えていただきたいです。僕はサッカー部に所属し、部活動を通して技術面だけでなく、精神面でも多くのことを学び、成長させていただきました。後輩たちにも、スポーツの楽しさだけでなく、辛く苦しいことがあってもそれを乗り越えることで得られる達成感などを経験し、成長してほしいと願っています。未来ある後輩たちのために、回答よろしくお願いたします。



### ○早野芽唯中学生議会議長

答弁を求めます。

### ○小澤和樹教育長

学校運営については、教育委員会が担当しておりますので、教育長である私からお答えいたします。西中学校では、生徒会SDGs宣言を作成し、全校で地球に優しい活動に取り組んでいるとお聞きしました。素晴らしい活動であり、今後も皆さんで様々なアイデアを出し合い、更に活動を充実させて欲しいと思います。

それでは、志賀春輝議員、山地瑚子議員ご質問の「ICTを利用した学習の理想像と課題について」お答えいたします。

新たなデジタルツール「スタディサプリ」を活用し、夏休みの学習を進めているとの話を聞かせていただき、大変うれしく思います。今回のスタディサプリ導入をきっかけにして、生徒一人一人が主体的に学習に取り組もうとする意欲を更に向上させるとともに、市内全中学生に対して、誰一人取り残すことのない学びの実現につながればと考えています。



今治市では、令和3年10月に、本市の教育、文化、スポーツなどの振興に関する総合的な取組を示した、「今治市教育大綱」が策定されました。その中で、「新たな時代を切り拓き、国際社会で活躍する人材の育成に寄与する新しい学校教育の推進」を重点方針のひとつに掲げ、「特色ある教育」を展開しています。チャットGPTを含むICTや体験活動など、全ての学習手段の良い点をベストミックスした学習環境

の下で、児童生徒と教職員が互いにやりがいと充実感を持って生き生きと教育活動に取り組むことが本市の目指すICT教育の理想像です。

みなさんご存じのとおり、ICTの技術は日々進化しているため、常に最新の状態を維持することが難しく、今後の課題でもあります。個々のICT学習ツールの良い点を適切に評価することにより、本市で学ぶ小中学生にとって最適な学習環境やカリキュラムを提供してまいります。

次に「部活動の地域移行について」、お答えいたします。まずは、西中学校男子バスケットボール部の県中学総体初優勝おめでとうございます。その他にも桜井中学校・今治東中等教育学校の軟式野球部、日吉中学校の男女卓球部、今治東中等教育学校のサッカー一部が優勝するなど、好成績を残してくれました。このような嬉しい話題は、今治を元気にしてくれます。

さて、今年度から、国が進める部活動の地域移行に伴い、地域クラブに所属する選手にも出場の手がかりが与えられ、県中学総体では、団体競技において、9競技15チームが出場しました。このように、今後、部活動の在り方が大きく見直されていく中で、本市では、部活動の地域移行を進める上で具体的な施策として、今年、三つの事業に取り組んでいます。

まず、一つ目は「部活動指導員の配置促進事業」です。これは、県の協力をいただき、立花中学校女子ソフトボール部、南中学校軟式野球部、大島中学校陸上競技部の3校に部活動指導員を3名配置しています。単独での指導、引率が可能な専門家である部活動指導員を学校に設置することにより、生徒の活動意欲や技能を向上させ、ジュニア世代の競技力の維持・向上を図ることを目的としています。来年度以降、一校でも多くの学校に配置してまいりたいと考えています。

次に、二つ目の「施設等使用料補助事業」です。これは、各種施設の使用料を補助し、部活動の地域移行を進めるための負担軽減を図るというものです。

最後三つ目は、「島しょ部合同チームの移動に掛かる負担軽減措置」です。島しょ部の生徒が合同練習をする際に発生する移動費や橋の通行料を軽減することが目的です。

現在、県は、国が示す「部活動の地域移行に関する総合的なガイドライン」に基づいて推進計画を策定することとなっております。今後、本市も推進計画をお示しし、中学生の皆さんにも分かりやすいような形で、部活動の地域移行



に取り組んでいきたいと考えています。

志賀議員、山地議員ご発言のとおり、未来ある後輩達のために、中学生の皆さんがより専門的な指導を受け、部活動を通して、人生をより豊かにすることができるよう、この「部活動の地域移行」を推進してまいります。

#### ○早野芽唯中学生議会議長

西中学校 志賀春輝議員。山地瑚子議員。

#### ○山地瑚子議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

#### ○早野芽唯中学生議会議長

以上で、西中学校志賀春輝議員と、山地瑚子議員の一般質問を終わります。

#### ○早野芽唯中学生議会議長

これで、すべての一般質問が終了しました。徳永市長から、今日の今治市中学生議会の講評をいただきたいと思います。徳永市長よろしく申し上げます。

#### ○徳永繁樹市長

閉会にあたりまして、講評を含めたご挨拶を申し上げます。15名の議員の皆さん、そして8名の議長さん、各校を代表して、今日の中学生議会に臨んでいただきました。大変おつかれさまでした。皆さん、今日、僅かな時でございましたけど、皆さんならではの気づき、そして学びというのはありましたか。市政というものを近くに感じるような、そんな機会になりましたか。あと何十年かしたら今治市長になってやろうという志を持たれましたか。それぞれ皆さんがお感じになられたんだと思います。皆さんがお感じになったことを、お友達や学校現場に、またお伝えしていただければ非常に有難いなと思います。皆さんからいただいた御質問は、正にいま今治市が直面する課題をはじめ、市民生活に密着したものや、中学校生活を取り巻く環境に関する事など、的確で、ハッと気付かされるものもあり、その真剣な眼差しに、私も、教育長も想いを込めて答弁をさせていただきました。それぞれ、自身のテーマだけでなく、他の議員の質問や答弁にもしっかりと耳を傾け、見聞を広げていただけたものと確信をしています。

堂々とした発言を頼もしく思いつつも、私自身が中学生の時にどうであったのかを考えると、穴があったら入りたいなという思いでもあります。皆さんを見ておりまして「自分の生まれ育った今治の魅力をもっと知り、今治を愛し、将来このまちに貢献したい」という想いや、「今よりもっと自分たちが住む島を好きになる」ための提案など、自分たちが誇る今治をより良くしていくためにどうすればいいか、将来を見据え自分事としてしっかりと捉えていただいていることに対し、とても頼もしく、有難く存じております。

今治市は市民が真ん中です。皆さんのお声もしっかりと頂戴しないといけません。皆さんが思うこと、願うこと、そして高校生になった皆さんが思うこと、願うこと、そういう声もしっかりと市民が真ん中ということで傾聴させていただく。一方で皆さんとともに新しいまちづくりを市民参画という名のもとで、

やらせていただきたいと思っています。

中学生の皆さん一人ひとりが、地域の課題に真剣に向き合い、遠くない将来にも、友達や仲間たちと共に行動を起こしてもらえることを心から期待する一方で、魅力に溢れ 持続可能な「誇れるまち今治」を、皆さんの世代に確実に引き継いでいけるよう、本日いただいた質問やご提案も参考にしながら、全力で市政運営に臨んでまいることをお約束させていただきます。

これから皆さんは進学しやがて就職と、それぞれの道に進むことと思います。様々な事情で、この地を離れることがあるかもしれません。ですが、どこに居ようと、生まれ育った今治のことを想っていただきたい。願わくば、「ふるさと今治の明日を共に考え 共に創っていく」メンバーとしてあり続けていただければ、私達にとってこんなに嬉しい、心強いことはありません。みんな違って、みんないいんだと思います。容姿も違う、考え方も違う、国籍も違うかもしれない。でも、この世に生を受けた以上、それぞれ皆さんには役割があると思っています。これから長い人生の中で、自分の思いどおりにならないこともたくさんあります。偉そうに私が皆さんにお話をさせていただいておりますけど、私も中学生の時にひとつの思いを持って高校に進学した。でも高校に進学をし、自分の未熟さで、その愛するものを手放してしまった。今から40年前の話なんですけどね。私が窮地に陥った時、40年前の坊主頭の私が、また自分の都合で、自分の最も大好きなものを手放すのかと語りかけるんです。私は決して諦めない。自分が志したことは必ずできるまでやりたい。そう思わせていただいているのも実は様々な経験の果てに自分が学んだことなのかなと思っています。大いに失敗をしてほしいとは言いませんが、前向きなチャレンジをしてみてください。自らが願うこと、自らが考え気づくこと、こうしたいと思うことをどんどん頑張ってやってみてください。必ず皆さんの後ろに私達はいます。必ず皆さんをこれからも応援をし続けてまいりたいと思っています。

いよいよ明日からは「おんまく」です。市民の皆さんの手で作られてきた、今治市民の一体感の象徴となるお祭りです。スタッフ、ボランティアの方々をはじめ、正に「今治を想う」多くの皆さんが携わりお支えをいただくことにより、次の年、そのまた次の年へと繋がってまいります。皆さんもその一員として、2日間存分に楽しんでいただければと思います。

最後に、傍聴席にいらっしゃる皆さまにも一言申し上げます。中学生議会の開催にあたり、お力添えをいただきました関係者のすべての皆さんに深甚なる敬意と感謝を申し上げますとともに、これからも子どもが真ん中の社会のために共に知恵を出し、共に行動していってほしいというメッセージを改めて皆さんにお伝えを申し上げまして、私の閉会にあたってのご挨拶とさせていただきます。長時間、本当にありがとうございました。

#### ○早野芽唯中学生議会議長

徳永市長、ありがとうございました。以上で、本日の日程は全部終了しましたので、今治市中学生議会を閉会します。

